

伊集院保健所感染症情報

2025年第18週（令和7年4月28日～令和7年5月4日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内警報発令：水痘

管内警報発令中：A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎，咽頭結膜熱，伝染性紅斑

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI 2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第15週	第16週	第17週	第18週	先週からの増減	第17週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	90.50	125.50	112.00	142.50	↗	60.95	↗
インフルエンザ	30	10	10	3.50	0.50	0.50	0.50	→	0.79	↗
COVID-19	—	—	—	1.00	0.50	1.50	1.50	→	1.07	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	3.00	1.00	2.00	↗	1.10	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	6.00	8.00	5.00	8.00	↗	2.97	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	5.00	12.00	3.00	8.00	↗	11.97	↗
水痘	2	1	1	0.00	1.00	1.00	3.00	↗	0.32	↗
手足口病	5	2	—	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
伝染性紅斑	2	1	—	5.00	0.00	6.00	1.00	↘	0.58	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	1.00	1.00	0.00	↘	0.32	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	9.00	4.00	7.00	2.00	↘	2.06	↗
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			百日咳1（4）							
※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし、　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし										

TOPIC 百日咳の発生届出が増えています。注意しましょう！！

百日咳は、百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作（^{けいがいほっさ}痙咳発作）を特徴とする急性の気道感染症です。百日咳は世界的に見られる疾患で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となっています。母親からの免疫が十分でないために乳児期早期から罹患する可能性があり、乳児では重症になり、肺炎や脳症を合併し、まれに死に至ることもあります。

○主な症状は次の3期に分けられます。全経過で約2～3カ月で回復するとされています。

1 カタル期（約2週間持続）

かぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増え、程度も激しくなります。

2 痙咳期（カタル期の後に約2～3週間持続）

次第に特徴ある発作性けいれん性の咳（痙咳）となります。短い咳が続いたり、「ヒューヒュー」という呼吸音がみられたりすることもあります。

合併症としては肺炎や脳症などもあり特に乳児では注意が必要です。

3 回復期

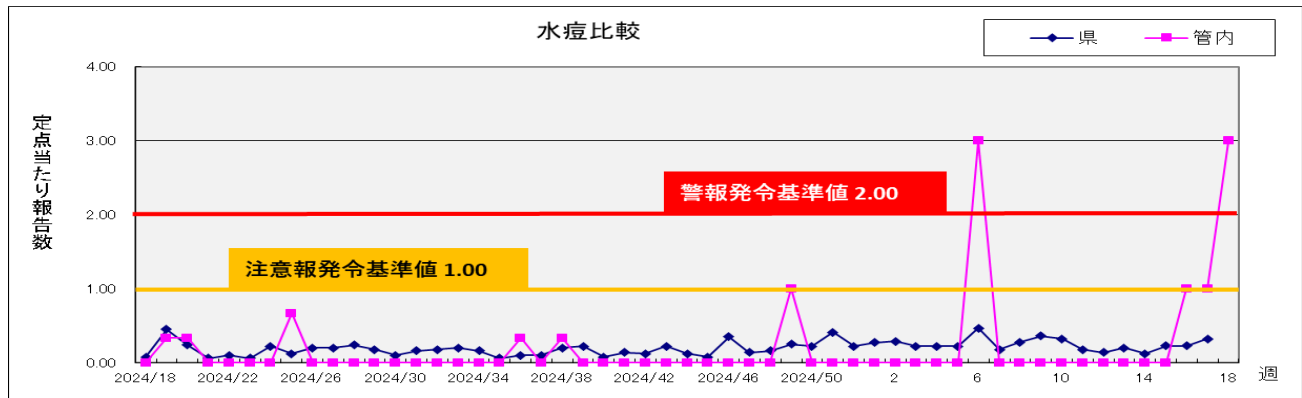
激しい発作は次第に減衰し、2～3週間で認められなくなります。

○感染経路は、飛沫感染や感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）とされています。

○百日咳の予防対策には、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。また、患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

● 注意すべき感染症

・ 水痘（流行警報発令）



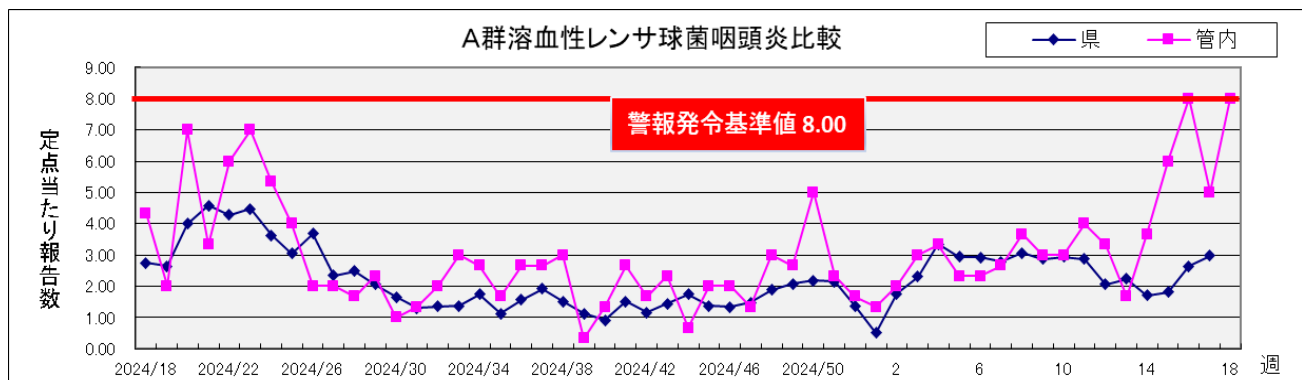
第18週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、3人でした。年齢別では、9歳・10～14歳・15～19歳（各1人）でした。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から2週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が2～3日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する1～2日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第18週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、8人でした。年齢別では、8歳・10～14歳（各2人）、2歳・6歳・7歳・9歳（各1名）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 4/28～5/4（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、インフルエンザ4人（非型別インフルエンザ2人、インフルエンザB型2人）、水痘4人、溶連菌感染症4人、マイコプラズマ感染症11人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフル エンザB型	水痘（みず ぼうそう）	溶連菌感 染症	マイコプラ ズマ感染症
日置市	1	2	4	4	11
いちき串木野市	1	0	0	0	0
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	2	2	4	4	11